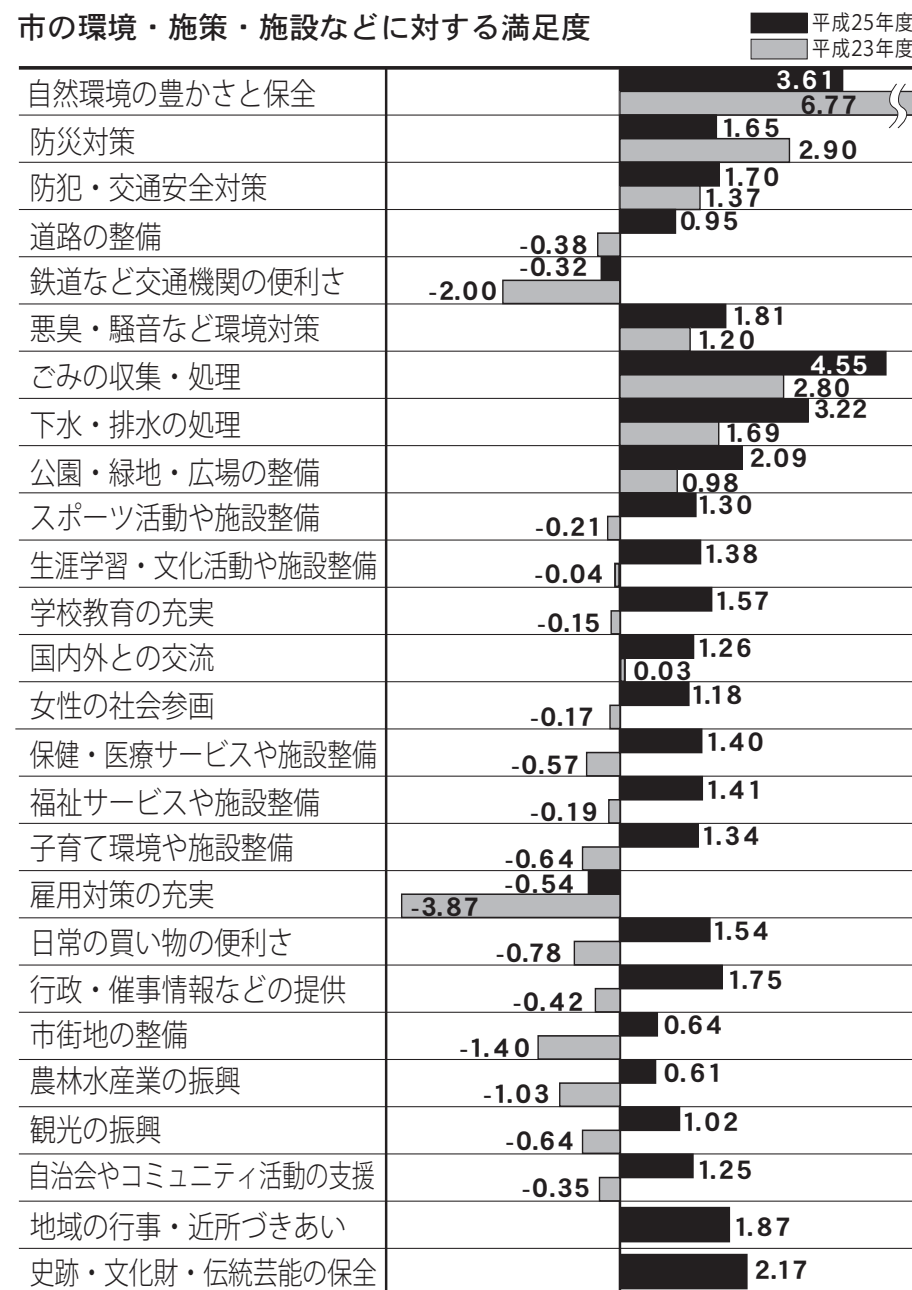


市民意識アンケート調査の結果報告

調査の概要

対 象	市内在住の満18歳以上の方
方 法	郵送による記入調査
期 間	平成25年5月下旬～6月下旬
配布数	5,000名(男性2,500名、女性2,500名)
回収数	1,824件(男性828件、女性952件、無回答44件)
回収率	36.5%(男性33.1%、女性38.0%)

市の環境・施策・施設などに対する満足度



◆満足度の数値の見方と計算方法

数値は、各調査項目を「満足(10点)」「やや満足(5点)」「どちらともいえない(0点)」「やや不満(-5点)」「不満(-10点)」の5段階で評価してもらった合計点数を、全回答者の数で割った値です。なお、「地域の行事・近所づきあい」と、「史跡・文化財・伝統芸能の保全」は、今回調査から新たに追加した実施項目です。

今回の調査では、前回実施した調査結果と比べ、満足度が大幅に上がりました。新規追加の2項目を除く全24の調査項目のうち、22項目が上昇し、下落したのは2項目でした。

☑満足度が上がった項目

平成23年度と比べ、「雇用対策の

充実」「日常の買い物の利便さ」「市街地の整備」「行政・催事情報などの提供」「子育て環境や施設整備」の順に、22項目の満足度が上がりました。

☑満足度が下がった項目

一方で、「自然環境の豊かさと保全」「防災対策」の項目の満足度が下がりました。これは、東日本大震

◆ 今後の防災意識の高揚や、福島第1原子力発電所事故による放射性物質への対策などの問題に起因するものと思われます。

◆ 次のページからは、この調査結果を基に、日光市がこれまで実施してきた事業や、今後実施予定の施策などについて、漫画で紹介していきます。

特集

市民意識アンケート調査の結果から見える

日光市の「いま」

はじめに

市は現在、「日光市まちづくり基本条例」に基づき、市民と行政による協働のまちづくりに取り組んでいます。日光市をさらに魅力あるまちにしていくためには、豊かな自然的条件や歴史的条件などを最大限に活用するとともに、市民と行政が一体となった協働のまちづくりの推進が不可欠です。

そのためにはまず、市政に関する市民の意識を確認し、今後も伸ばしていくべき点や課題点など、広く意見を抽出する必要があります。

そこで、市民の中から無作為に5,000人を抽出し、平成25年度市民意識アンケート調査を実施しました。前回の調査は平成23年度に実施されており、今回は市町村合併後から数えて4回目の調査です。

市町村合併から8年。日光市を取り巻く現状は、日々目まぐるしく変化を続けています。今号の特集では、調査項目のうち、満足度調査の結果に視点を当て、平成23年度と比較し日光市がどう変わってきたか、どのような課題点があるのかについて検証します。

今後、日光市をより良いまちにしていくために、皆さんも一緒に考えてみませんか。

特集 日光市の「いま」

登場人物



日光彩子
市役所勤務の24歳。



日光若葉
市役所勤務の23歳。彩子の妹。



日光杉造
彩子と若葉の祖父。80歳。

満足度調査の結果を見ると前回と比べて上がっているものと下がっているものがあるの…

ほう…

報告書

市民意識アンケートの調査結果が出たわ。

福祉や医療関係は数値が伸びているわねえ。

保健・医療サービス
-0.57 → 1.40

福祉サービス
-0.19 → 1.41

ほう…確かに前回マイナスだったものが、皆プラスに転じているのう…

日光市は特に福祉に力を入れているの。

- ・在宅介護オアシス支援事業
- ・難治性疾患患者見舞金支給制度
- ・公共施設使用料等免除制度 など

在宅介護オアシス支援事業は、現在14施設で、年間約2万人が利用している、日光市独自の事業なのよ。

へえ～

日光市は、子育てがしやすいから助かるわ。

ふむふむ…確かに満足度が伸びているようじゃのう。

子育て環境
-0.64 → 1.34

報告書

・こども医療費助成制度
・保育料の減免制度
・すくすく赤ちゃん券の支給 など

将来の日光市を支えていく子どもたちを育てていくのも市の重要な役割なの。県内の医療機関で、中学3年生までの窓口支払いが不要なのは日光市だけなのよ。

そういえば…

宇都宮市の病院でも医療費を支払わずに診てもらえたときは本当に助ったわ。

他にも前回から比べて満足度が上がっている項目がたくさんあるみたいだねえ。

どれどれ

報告書

道路や下水、公園の整備なども、満足度は上がっているね。

道路の整備
-0.38 → 0.95

下水・排水の処理
1.69 → 3.22

公園・緑地・広場の整備
0.98 → 2.09

学校教育の充実に関係する満足度も上がっているんだよね。

うむ。確かに上がっているようじゃのう。

学校教育の充実
-0.15 → 1.57

ごみの収集の満足度が上がっているわ。

ごみの収集・処理
2.80 → 4.55

自治会のお祭りなどにも、補助金が出ているのよね…

自治会やコミュニティ活動の支援の項目も上がっている。さまざまな補助金や、地域おこし協力隊の活躍などが評価されているのかも知れんのう。

自治会やコミュニティ活動の支援
-0.35 → 1.25

平成25年度からは、高齢者や障がい者など、ごみ出しが困難な世帯の方への、戸別収集も始まったのよ。

それは便利ねえ…

平成25年度からは、小中学校の給食費を補助して、保護者の負担を軽くしたのよ。

平均4,100円
小学校 ↓ 3,000円

平均4,700円
中学校 ↓ 3,500円

※金額は月額

防犯・交通安全対策の項目も満足度が上がっているわ。

防犯灯を、環境にやさしく省エネなLEDに変えているのよ。

防犯・交通安全対策 1.37 → 1.70

マンガの中の用語解説



☑保健・医療サービスおよび福祉サービスの項目

・在宅介護オアシス支援事業
高齢者や障がい者などが集える場所を提供し、孤独感の解消や生きがいづくりの増進などを旨とする事業です。

・難治性疾患患者見舞金支給制度
症例数が少なく、原因不明で治療方法が未確立の疾患について、患者に対して見舞金を支給する制度です。

・公共施設使用料等免除制度
障がいのある方に、市の施設の使用料などを免除する制度です。

☑子育て環境の項目

・こども医療費助成制度
子どもの医療費の助成制度です。県内の医療機関で生じた中学3年生までの医療費などの窓口支払いが不要なのは、平成25年12月現在、日光市だけです。

・保育料の減免制度
市内全ての保育園や幼稚園、認定子ども園において、第2子の保育料が半額、第3子は無料

になる制度です。同時入所でないでも適用されます。

・すくすく赤ちゃん券の支給
出生届の際などに、おみやみやミルクなどと交換できる券を配布する、市独自の事業です。

☑ごみの収集・処理の項目

・ごみの戸別収集（ふれあい収集）
高齢や障がいなどで、家庭ごみをごみステーションに出すことが困難な世帯の方を対象に、戸別収集を行う事業です。

☑自治会やコミュニティ活動の支援

・地域おこし協力隊
市外の人材を山間地域に誘致し、地域活性化を促進する事業で、現在、足尾・栗山地域で活動中です。
平成26年度は三依地区でも実施予定です。



足尾地域での活動の様子

☑防犯・交通安全対策

・防犯灯整備事業
LED防犯灯を計画的に設置・整備する事業です。既存の全ての防犯灯も、平成25年度中にLED化します。

東日本大震災後の防災意識の高揚と、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響って大きいと思うの…

自然環境の豊かさと保全 6.77 ➡ 3.61
防災対策 2.90 ➡ 1.65

自然環境の豊かさと保全、防災対策の項目は共に下がってしまっているわね…

原因は何かしら…
対策はあるの？

さてさて、問題は次じゃ…今回の調査で下がってしまった2つの項目についてじゃ!!

防災面の対策については…

公共施設の耐震強化

防災行政情報システムのイメージ

市内全域をカバーする防災行政情報システムの導入に取り組む他、引き続き公共施設の耐震強化を図っていくわ。

環境・健康面の対策については…

ホールボディカウンタ 一般家庭の除染

今後も市は18歳未満の子どもがいる全世帯の除染作業を実施するわ。他にもホールボディカウンタによる内部被ばく検査や、甲状腺がんの検査も継続して実施していくわ。

まちづくりの主役は、あなたや私たち市民ですものね。

僕たちもみんな考えていかなきゃいけないね。

そのとおりじゃ!!

なかなか難しい問題じゃな…日光市がより良いまちになるように、ここは真剣に考えねばならんぞ。

今回大きく数値を伸ばした雇用対策の充実…伸び率こそ1番じゃが、まだまだマイナスの評価の方が多いようじゃ!!

雇用対策の充実 -3.87 ➡ -0.54

じゃが喜ぶのは早い

ひいひい~

こうして見てみると良い事業がたくさんあるのう…

日光市はいいところいっぱいなのよ!

それには私が答えるわ。

おねえちゃん…

何か方法は無いのかい？

え…えっと…

こ、今後の大きな課題よね…

雇用対策の一つとして、現在、土沢インターチェンジの近くに、「日光産業団地」の整備を進めているの。今後は企業を誘致することで、雇用の促進を図っていくわ。

ほう…これから期待じゃな…

この特集についてくわしくは
秘書広報課広報係
☎(21)5135

おわりに
今回の市民意識アンケートの満足度調査結果から、市のさまざまな課題点が浮かび上がってきました。これらを克服するためには、市民の皆さんの力が不可欠です。市は、今後も市民と行政の協働を目指したまちづくりを推進していきます。
※平成25年度の市民意識アンケートの調査結果については、市ホームページに掲載しています。

☑防災対策の項目

- ・防災行政情報システムの導入
市内の全世帯をカバーする防災行政情報システムの発信基盤を整備し、台風や地震などの災害発生時に備えます。
- ・公共施設の耐震強化
耐震診断の結果に基づき、学校など、市有施設の耐震強化工事を実施しています。

工事後の小学校の教室

☑雇用対策の充実の項目

- ・日光産業団地の整備
地域経済の活性化と、雇用機会の創出を図るため、対策の一つとして、日光産業団地を整備し、企業誘致を促進します。
- ☑自然環境の豊かさと保全の項目(次ページ)
- ・一般家庭の除染作業
除染実施計画区域以外の区域でも、18歳未満の子どもがいる世帯については、希望があれば全ての世帯の除染を実施しています。
- ・ホールボディカウンタによる放射線内部被ばく検査
ホールボディカウンタ(体の中に取り込まれた放射性物質の量を計測する装置)による、放射線内部被ばく量の検査を実施しています。検査料金は無料です。
- ・甲状腺検査の実施
放射線に対するお子さんの健康への不安軽減を図るため、甲状腺超音波検査を実施しています。対象者は平成24年4月2日生まれ〜平成23年4月生まれの市民の方で、検査に要する自己負担額は3,000円以下。